

平成24年度八王子市立中学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 技術・家庭(家庭分野) (1/1枚目)

調査の観点	発行者名	東京書籍	教育図書	開隆堂
<p>1 内容 (1)発達段階に即している (2)興味・関心を引き出す配慮 (3)本市の学力の実態へ配慮</p>	<p>(1)発達段階に即している。基本的な内容を精選して、基礎を重視した紙面づくりになっていて、生徒に親しみやすくわかりやすい。 巻頭(表紙の裏)の詩が、家庭分野の学習における生徒の意欲を喚起させる。 衣・食・住の領域に基礎技能のページがあり、理解しやすい。 A「家族・家庭と子どもの成長」の内容が幼児に関する部分に比重がかかり、家族・家庭の部分が軽い。 (2)学習する目標が内容ごとにチェックでき、学習への意欲を喚起できる。</p>	<p>(1)生徒の発達段階に即した内容という点で、特にA1章「家族と家庭生活」とB1章「健康と食生活」において優れ、現場で生徒に指導する際に使いやすい紙面作りになっている。(献立作成等) (2)今どきの生徒の興味関心を引き出す内容が多く盛り込まれている。特にA～Dの最初の見開き導入ページは動機付けになる。 巻頭折込み頁の「年中行事と私たちの暮らし」は興味深く、日本の伝統文化に興味・関心を持つきっかけとなる。 いくつかのキーワードチェックがあり、目標が分かりやすく、意欲を喚起できる。献立例が数多く並び、食育にも配慮されている。</p>	<p>(1)発達段階に即している。 衣・食・住の領域に基礎技能のページがあり、理解しやすい。 (2)巻頭に印象的な写真と見開きページでA B C Dをわかりやすく紹介しており、生徒の興味・関心を引き出しやすい。 学習する目標が内容ごとにチェックでき、学習への意欲を喚起できる。 「参考」資料が多く載せられていて、生徒の意欲を引き出しやすい。</p>	
<p>2 構成及び分量 (1)内容の組織配列、発展的記述 (2)発達段階に配慮した分量 (3)基本事項の押さえと補充教材 (4)発展教材への配慮</p>	<p>(1)指導要領のA B C Dの順に配列されていない。B「食」から始まるのは、発達段階を考慮してのことか食育重視からか疑問。 (2)1ページの分量が適切である。 A「家族・家庭と子どもの成長」の入学当初に扱うことになっている内容(家庭と家族関係)が10ページほどしかない。 (3)「基礎技能」という項目を立てて基本事項を押さえている。 調理実習のページに補充教材(組み合わせる料理の例)が示されており、各校の実習時間によって柔軟な対応がしやすい。 (4)発展教材の中に伝統を重んじるところがある。</p>	<p>(1)指導要領のA B C Dの順に配列しており、今回の改訂の主旨を反映している。 (2)A1章「家族と家庭生活」は、20ページ以上の紙面に適切な図・グラフ・写真が盛り込まれ、生徒の発達段階に合った指導を進めやすい。 (3)基本事項のキーワードが左下の部分と文中の太字でわかりやすい。また、調理や被服製作の基礎という項目を立てて、基本事項を押さえている。各章の最後に問題があり、学習内容を確認できる。 (4)補充教材や発展教材も内容・量ともに適切である。</p>	<p>(1)指導要領のA B C Dの順に配列しており、今回の改訂の主旨を反映している。 (2)A「家族・家庭と子どもの成長」の内容が幼児に関する部分に比重がかかり、家族・家庭の部分が軽い。 A B C Dのページのはじめに、細かい目次があり、見やすい。 (3)「基礎技能」という項目を立てて基本事項を押さえている。 各領域の最後に、学習のまとめとふり返りができる頁がある。 (4)補充教材・発展教材が充実しているが、やや分量が多い。時代の変化に合わせた多くの情報が盛り込まれていることは良いが、表現方法が硬い面があり、生徒には難しい印象になるかと思う。</p>	
<p>3 表記及び表現 (1)生徒にとって読みやすい表現 (2)印刷、写真等の見やすさ</p>	<p>(1)親しみやすい絵や写真が多く、生徒が理解しやすい。 キャラクター(生徒姿の挿絵)が自然で邪魔にならない。 A～Dに独自につけられたタイトルが、生徒に親しみやすい表現にしてあるために、新指導要領に即していない面がある。(「私たちの食生活」 自立という言葉が入っていない) (2)写真がきれいで紙面全体の色づかひの印象が明るい。 調理実習例が見開きページで見やすく、材料欄の背景が白地で読みやすい。</p>	<p>(1)生徒が読んで分かりやすい文章表現である。栄養素と6つの食品群をリンクさせたページ、献立作成、ミシンの下糸の入れ方と出し方の部分は、生徒に分かりやすい。アニメなどを取り入れ、家族構成や住居の間取り図・絵などを豊富に載せてあり生徒の興味を引く。ページの左下にキーワードチェックを設け、文中の極太ゴシックと照らし合わせることができる点が生徒に分かりやすい。 (2)写真・図が多く、理解しやすい。調理実習例が多いが、細かくなっており、やや見にくい。</p>	<p>(1)親しみやすい絵や写真で表現されている。五大栄養素と6つの食品群をリンクさせたページ(P74,75)は生徒に分かりやすい。 (2)見開きページに食品群別摂取量のめやすと実物大の食材が載せてあり、食べ物の大きさと重さの関係が見てわかりやすい。 太ゴシックのキーワードは見やすい。 写真・図が多く、理解しやすい。 調理実習例は多いが、1ページに収めてあるので細かい印象になっており、材料の背景に写真があつて見にくい。</p>	
<p>4 使用上の便宜 (1)全体が構成見渡せるよう配慮 (2)課題発見、解決に向けた学習が効果的に進められる配慮 (3)印刷、装丁への配慮 (4)地域性への配慮</p>	<p>(1)巻頭の折込みページに家庭分野の学習を見渡せるガイダンスと3年間の学習の前後でチェックする欄があり、使いやすい。 前小口の右上に各領域と章が色分けしてあり、頁を開きやすい。 A B C Dの順に配列されていないため、入学当初に扱うことになっているA(1)家庭と家族関係までページが飛ぶのは使いにくい。 (2)生活の課題と実践の内容は良いが実践例が少なく、最後に配列(P235～)されているので、使いにくい。 生徒姿の挿絵の吹き出しに課題の発見や解決のヒントとなる一言が書かれている。 (3)表紙が技・家で似ており、さらに理科等の教科書にも類似したデザインのものがあり紛らわしい。</p>	<p>(1)前小口(背表紙の反対側)にインデックス的な工夫があり、生徒がページを開きやすい。巻頭に「家庭分野の学習を始めよう」があり、3年間のガイダンスをするのに使いやすい。 折込みページに「6つの食品群」と「食品成分表」が裏表になっているので、探しやすく使いやすい。 (2)生活の課題と実践が各章の終わりに配列されているので使いやすく、課題発見・解決に向けて取り組みやすい。 キャラクターの吹き出しに課題の発見や解決のヒントとなる一言が書かれていてよいが、毎ページに出てきて多すぎる。 (3)一見地味な表紙だが逆に今どきの斬新なデザインとも言え、生徒が他教科と間違える心配がない。</p>	<p>(1)巻頭カラーページに印象的な写真と見開きページでA B C D全体を見渡せるようになっており、ガイダンスに使いやすい。 (2)「発見」「ウォッチング」として、課題発見・解決に向けた資料が盛り込まれている。生活の課題と実践(P238～)の内容が実践例も多く充実している。ただ、巻末なので、やや使いにくい。 全体の目次のページが見つけにくく、その紙面の文字が小さいのと配置の関係なのか見にくい。キャラクターが課題の発見や解決のヒントを提示している。 (3)表紙が技・家で似ており、さらに理科等の教科書にも類似したデザインのものがあつて紛らわしい。</p>	
<p>5 総合所見(重点調査項目) 安全への配慮</p>	<p>巻頭のカラーページに「実習の安全」を見開きで大きく示し、さらに各領域でも「安全と衛生」について扱っており、わかりやすい。</p>	<p>まとめて示したページはないが、調理や被服製作の中に、「安全につくるために」という項目があり、実際に役立つ情報を丁寧に扱っている(着衣着火・突沸・揚げ油から火など)。</p>	<p>巻頭カラーページに「気をつけよう作業の安全」として示し、さらに各領域でも「安全」の項目を必要箇所に設けている。</p>	
<p>小・中学校の内容の関連性への配慮</p>	<p>巻頭のカラーページで小学校家庭科の学習のふり返りとこれからの学習をまとめて示しており、各領域でも「小学校で学んだこと」という項目が置かれている。</p>	<p>衣服の手入れ・補修の方法の部分に「小学校で学習したことを復習してみよう」がある。</p>	<p>表紙の裏ページに「小学校ではどんなことを学習してきたのでしよう」があり、ふり返りとこれからの学習を展望できる。 基礎技能の項目で小学校のふり返りができるようになっている。</p>	